

幼児に注意！

交通事故にあった 未就学児(幼児)の死者・重傷者 春の交通安全運動(4月6日～15日) を前に集計、分析

- 歩行中が60%
 - ・安全確認せずに道路に飛び出し
 - ・保護者の付き添いがなかった
- 時間帯別
 - ①午後4時～午後5時
 - ②午後2時～午後3時
 - ③午前11時～午前11時
- 自宅から近いところで事故に遭うケースが多い
- 小学生は、自転車に乗っていた児童も30%

2021/3/25(木) 10:26

2016～20年の5年間に交通事故にあった未就学児(幼児)の死者・重傷者が1,428人いたことが警察庁のまとめでわかった。

60%超の915人が歩行中の事故で、安全確認せずに道路に飛び出したり、保護者の付き添いがなかったりして事故にあったケースがそのうち約半数を占めた。

春の交通安全運動(4月6日～15日)を前に集計、分析した。

歩行中の幼児915人(死者・重傷者)の事故発生状況を見ると…

時間帯別では、午後4～5時台264人、午後2～3時台178人、午前10～11時台122人など。

自宅から近いところで事故に遭うことが多い傾向で、自宅から50メートル以下が281人(31%)、50メートル超～100メートルが105人(11%)。

幼児が50メートル以下で事故にあった割合は、全年齢と比べて約3倍だった。

小学生は4,687人で、自転車に乗っていた児童も約30%いた。